

所属	生涯福祉研究科 生涯福祉専攻 修士課程	修了年度	平成 27 年度
氏名	張 帆	指導教員	井上 牧子

論文題目	<b>中国遼寧省におけるソーシャルワーク（社会工作）教育の現状に関する研究 ーソーシャルワーク実習教育についてのインタビュー調査からー</b>
------	---

## 本文概要

### I. 研究目的

ソーシャルワークは、中国では新興の学問であり、急速に発展しているとともに、複数の問題が起きている。教育面では、特に、ソーシャルワーク実習教育に関して、その内容、実習時間、実習設備などについて、中国の現状を全体的に研究する必要がある。本研究では、中国遼寧省におけるソーシャルワークおよびソーシャルワーク教育の現状を明らかにすることを目的にする。特に実習教育に焦点をあてる。そして、今後の中国におけるソーシャルワーク教育について提言を行いたいと考える。

### II. 研究方法

本研究は半構造化面接によるインタビュー調査を実施した。研究対象者については、中国遼寧省において、ソーシャルワーク養成教育を行っている三つの大学の5名の教員を対象とした。

インタビュー調査の内容をレコーダーで録音し、それを逐語録にし、データとして使用した。そして、ワークシートを作成し、語りの文脈ごとに「小見出し」をつけ、さらに、「重要な内容」を抽出して、それらをカードに転記した。カードに転記したものを指導教員のスーパーバイズをうけながら、グループ化し、図にしていっていった。

なお、目白大学倫理審査委員会に倫理審査を申請し、承認された後、インタビュー調査をスタートした。

### III. 結果

中国遼寧省において社会工作学部を有し、ソーシャルワーク実習教育を行っているA校、B校、C校の実習内容が明らかになった。実際にはソーシャルワークの実習教育は、学内で行われることが多いことが明らかになった。しかし、教員たちは理論と実践が結びつくように工夫していた。学生に関連する課題として、学生の入学は自己志望ではなく、自動的にソーシャルワーク専攻に割り振られることが明らかになった。現場指導教員については、専門性が不足していると考えられている現状が明らかになった。

### IV. 考察

調査結果から、遼寧省のソーシャルワークおよびその実習教育が発展の途上であることが明らかになった。しかし、遼寧省の高齢者などの分野で多くのニーズが存在しており、ソーシャルワークはそれらの分野で発展する可能性があると考えられる。そして、大学がソーシャルワーク機構と連携して、地域の資源を利用することが出来るならば、遼寧省の特徴を持つソーシャルワークおよびその実習教育は発展する可能性があると考えられる。

### V. まとめと今後の課題

今後は、遼寧省のソーシャルワーク専攻を持っているすべての学校とソーシャルワーク教育に関与する教員に対して、今回の研究課題について調査を継続したい。今回の結果について検証したいと考えている。なお、すべての調査協力者は中国の南方におけるソーシャルワークとソーシャルワーク教育は発展していると述べていた。今後の研究課題として、南方のソーシャルワークの現状やソーシャルワーク教育、実習教育を明らかにしたいとも考えている。